【令和２年度総括報告】

「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として９年目を迎えた今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が全国各地に広まり、兵庫においても令和２年４月７日から5月21日まで緊急事態宣言が発出される等、感染拡大が収まらず、行事や会議の休止や自粛が相次ぎました。当協会においても活動面、事業面で大きな影響を受けました。現在も収束が見えない中、聴覚障害者の生活と権利を守りながら県域の聴覚障害者当事者団体として１年間活動を推進してきました。以下のとおり報告いたします。

【全国の運動】

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、全国ろうあ者大会等の行事を全面中止とし、新型コロナウイルス感染症に対応すべく「新型コロナウイルス危機管理対策本部」を設置し、医療・教育・生活・法律・地域の各支援チームによる聴覚障害者のいのちや生活を守るための取り組みをはじめています。

手話言語条例については、令和２年度も地方自治体に於いて次々と制定され、令和３年３月３０日現在、３１都道府県１５区２９６市６１町２村の計４０５自治体で手話言語条例が制定されています。全国手話言語市区長会は６０４市区長の入会があり、兵庫はすべての市（29市）が加入しています。また、「情報・コミュニケーション法」（仮称）の制定も課題として取り組みがされています。

旧優生保護法による障害者の強制不妊手術について、全日本ろうあ連盟は、全国の聴覚障害者原告による裁判（兵庫・大阪・静岡・福岡）の支援をはじめ、一時金支給や裁判判決に対する緊急声明を出すなど、被害聴覚障害者の人権を守る取り組みを続けています。

【兵庫の運動】

新型コロナウイルス感染症は連日テレビ等報道され、知事の会見が増えました。初期段階は県知事の緊急会見に手話通訳がなかったため、県に対して早急に要望書を提出した結果、すぐ手話通訳者が配置され、現在も知事の会見に手話通訳がついています。また、コロナウイルスについての不安を解消するために兵庫県立聴覚障害者情報センターで動画による配信を煩雑に行ったこと。コロナに関する医療現場の聴覚障害者の情報・コミュニケーション保障として遠隔手話通訳サービスの導入をはじめワクチン接種において聴覚障害者への配慮に関する要望書を提出するなど取り組みました。地域ろうあ協会に於いてもワクチン接種に関して要望を市町に働きかけてもらうよう取り組みました。今後も手話言語による情報配信や医療等生活において情報コミュニケーションに保障が進むよう続けていきます。

「手話言語条例」制定に関しては、令和２年度中に市議会で手話言語条例を可決した市は、養父市です。合わせて県内は２６自治体（２５市１町）で手話言語条例が制定されています。また、猪名川町と川西市は手話言語条例を制定するための検討委員会が始まっており、当法人も委員として加わっています。施行後の手話言語に係る施策を推進していくことも重要な課題です。今後も県及び未制定の市町に手話言語条例が制定されるよう県下各ろうあ協会、手話関係者等とともに、議会や行政に働きかけるとともに条例が施行されている市町に対して施策が広まるよう連携していきましょう。なお、兵庫県手話言語条例（仮称）の制定については、まだ実現されておらず、引き続き県に働きかけていきます。

会員拡大については昨年比 64 名減少の 648 名でした。コロナ禍で大会の中止が相次いだことや経済的な理由などさまざまな要因が挙げられますが、地域ろうあ協会と連携を取りながら課題の克服に取り組みたいと思います。

旧優生保護法による聴覚障害者の強制不妊手術、断種、中絶の問題について、施行した国に対して、子どもを産む権利や育てる権利を奪われた障害者が全国各地で訴訟が展開されています。このうち、仙台、東京、大阪、札幌の判決は原告の敗訴となっていますが、仙台、大阪が旧優生保護法を憲法違反としたことは大きな成果です。兵庫の裁判は３月 25 日に結審となりました。５名の原告（２組の夫婦（神戸ろうあ協会内１名は死去、明石ろうあ協会所属、脳性麻痺の女性）が勇気を持ってたたかっており、判決は８月３日の予定です。３月 22 日に神戸地方裁判所に対して「公生な判決を求める要請署名１万４475 筆を提出しました。引き続き署名活動を続けています。

日本聴力障害新聞の取り組みは、目標（読者数 1,006 部）のところ 598 部で未達成ですが、少しずつ購読を増やしています。季刊みみの購読も併せて今後とも拡大にご協力をお願いします。

【協会の事業】

公益社団法人に移行して９年目を迎えました。兵庫県ろうあ者大会（西宮）は中止となりましたが、兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（西脇）は三密に留意しながら実施しました。また、オンラインを用いた講演会を開く取り組みも行っています。

兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、にしのみや聴覚障害者センター、たつのころうあハウス、たつのこ工房、ひょうご聴覚障害者介護支援センターの運営事業に関してもコロナ禍の中、行政機関をはじめ関係機関、地域ろうあ協会等と連携を図りながら、円滑な運営に努めています。各事業所においてもコロナ禍による減収があり、安定した運営が課題となっています。今後も聴覚障害者の権利と生活を守りながら、さまざまな課題の解消に向けて取り組んでいきます。

【今後の取り組み】

当協会に結集する仲間を増やすために会員拡大や組織強化に取り組んでいきます。地域協会と連携を取りながら、未組織地域のろうあ協会の結成や組織強化に務めていきます。

神戸長田ふくろうの杜が完成、開設したことは明るいニュースです。兵庫県下には、聴覚障害者のための社会資源は、まだまだ少ないのが実情です。県下各地で聴覚障害者の拠点を作っていけるよう取り組みましょう。

新型コロナウイルス感染症の収束が見られない中、ワクチン接種が始まろうとしています。聴覚障害者がワクチン接種で不利とならないよう、手話言語による情報発信、情報保障につとめていきます。また、地域の意思疎通支援事業においてコミュニケーションが保障されるよう取り組んでいきます。

今後とも聴覚障害者に対する理解を広め、社会参加を促進し、聴覚障害者及び手話を学ぶ者をはじめ、県民すべてに聴覚障害関連及び福祉の増進に関する事業を行い、社会福祉の発展に寄与してまいりますので引き続きご支援ご協力をお願いします。

## 公－１　聴覚障害者の福祉向上のための事業

（概要）

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などに通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

### １．手話通訳者などの講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

（1）手話奉仕員養成事業講師講習会

ア．開催期間：基礎編　令和２年９月４日（金）～１２月１１日（金）全１５回

イ．開催場所：姫路市総合福祉会館

ウ．受講人数：39 名（ろう者１８名、聞こえる人２１名）　【修了者３８名】

（2）手話通訳者養成事業講師研修会

ア．開催期間：手話通訳Ⅱ　令和２年１１月２２日（金）～3月３１日（水）１５回

イ．開催場所：宝塚福祉コミュニティプラザぷらざこむ1

ウ．受講人数：20 名（ろう者８名、聞こえる人１２名）　【修了者１９名】

### ２．手話学習会

（１）手話対策部学習会

県内の手話対策部長や関係者が集い、学習や情報・意見交換を行うと共に今後の運動に結びつけていく。

ア．開催日時：令和２年９月１２日（土）

イ．開催場所：神戸市障害者福祉センター

ウ．参加人数：１５名

エ．情報意見交換「意思疎通支援事業、手話検定について」

### ３．講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

（１）内容

手話奉仕員養成・通訳者養成講座（実技、講義）、手話通訳者現任研修会、手話言語条例、兵庫県の災害と防災について、聴覚障害者支援事業について、ろうあ運動、相談支援研修会など

（２）派遣回数　603 回

高等学校 12 回、大学・短大・専門学校 73 回、奉仕員養成（実技）39 回、通訳者養成 192 回、奉仕員養成（講義）21、通訳者養成（講義）32 回、ステップアップ講座基礎 32 回、ステップアップ講座通訳 14 回、統一試験対策５４回、現任研修会３４回、奉仕員養成研修 7 回、講師養成研修 33 件、学習会 10 回、講演・シンポジウム 12 回、要約筆記者養成（講義）３回、中途失聴者・難聴者関係５回、その他 30 回

（３）講師

当法人理事、認定手話通訳者、登録講師

（４）講師研修会

ア．開催日時：令和３年１月１６日（土）
　　新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

## ４．手話通訳認定事業

（１）手話通訳者派遣事業の円滑な運営を図るため、実技及び面接などによる選考を行い、合格した手話通訳者を当協会の認定手話通訳者として登録する。

ア．開催日時：令和３年３月６日（土）９時半～１２時
イ．開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
ウ．受験者数：３名
エ．合格者数：１名

## ５．手話通訳者派遣事業

（１）認定手話通訳者派遣
ア．派遣回数　７６４件
（２）認定手話通訳者研修会
第１回研修会
・日　時：令和３年3月３０日
・場　所：兵庫県聴覚障害情報センター
・出席者：１８名
・内　容：テレビ等における手話通訳について
第２回研修会
・日　時：令和３年３月３１日（水）
・場　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
・出席者：１５名
・内　容：司法における手話通訳について

## ６．ろうあ兵庫

令和２年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、兵聴協として重点的に取り組んでいる事項についてトップページに掲載しました。また、コロナウイルスに関する記事も載せてきました。各部の記事については定期的に情報を掲載してきました。掲載については、前年度に続き、各部ごとに半ページに縮小し、空白・無駄を省き、読みやすいようにフォントの統一などを図りました。また、編集の体制を整え、発行日である毎月の１日に読者にお届けできるよう努めてまいりました。今後とも、聴覚障害者福祉の向上及び啓発のため、ろうあ運動を中心に掲載してまいりたいと思います。

主な内容
・４月号　第４８１号：「新型コロナウイルスに対する早急な対策を！！」　等　（１２頁）
・５月号　第４８２号：知事会見に手話通訳配置される！　等　（１２頁）
・６月号　第４８３号：引き続き外出を控え３密を避ける行動を！　等　（１２頁）
・７月号　第４８４号：第９回総会開かれる！　等　（１２頁）
・８月号　第４８５号：「ひょうごスタイル」に取り組もう！　等（１２頁）
・９月号　第４８６号：「原告に対する尋問が始まる」
～旧優生保護法　兵庫訴訟第７回期日（裁判）～　等　（１２頁）

・１０月号　第４８７号:「手話通訳者をふやすためには」～ひょうご手話フォーラム～　等　（１２頁）
・１１月号　第４８８号:「兵庫県遠隔手話通訳サービス」が始まりました！　等　（１２頁）
・１２月号　第４８９号：第８回（通算第７１回）評議員会を開催　等　（１２頁）
・１月号　第４９０号：新年のあいさつ　等　（１２頁）
・２月号　第４９１号：第４７回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいを開催！　等　（１０頁）
・３月号　第４９２号：第３０回ろう教育近畿フォーラムを開催！！　等　（１２頁）

## ７．調査研究事業

（１）聴覚障害者の強制不妊手術等の実態調査及び旧優生保護法による優生手術への一時金支給手続き状況調査（全日本ろうあ連盟より）及び旧優生保護法による被害訴訟等に関する取り組み状況、新型コロナウイルス感染症による取り組み状況（近畿ろうあ連盟）、令和２年度兵庫県における身障者相談員等及び兵庫県 41 市町の障害者差別解消支援地域協議会に関する調査を分析し、それぞれの事業の現状や問題点・課題等情報収集等を各協会に配布しました。

（２）県内意思疎通支援事業実施の自治体に対する調査（手話対策部）

障害者総合支援法における県内４１市町の意思疎通支援事業の実施状況（手話通訳者派遣、手話通訳設置偉業、奉仕員養成事業）を各協会に配布しました。

（３）手話協力員実態調査（労働対策部）

令和２年度の調査研修の内容は、労働問題、全国都道府県における手話協力員が配置されている各職業安定所において職業安定所の現状を把握し手話協力員の実施状況の内容を各協会に配布しました。

## ８．ろうあ相談員等研修事業(生活問題対策事業)

（１）生活問題対策部会議

第１回生活問題対策部会議

新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となりました。

第２回生活問題対策部会議

・日　　時：令和２年８月２９日（土）午後１時半～３時
・場　　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター　１階会議室
・出 席 者：１３名（身障者相談員８名、ろうあ相談員２名、福祉対策部３名）
・報告内容：福祉対策部からの連絡、新型コロナウイルス感染症による相談、各地域の情報交換及び意見交換、その他

第３回生活問題対策部会議

・日　　時：令和３年１月３０日（土）午後１時半～３時
・場　　所：オンライン会議（ＺＯＯＭ）
・出 席 者：６名（身障者相談員２名、ろうあ相談員２名、福祉対策部２名）
・報告内容：近畿ろうあ連盟福祉労働対策部より近畿ろうあ者福祉・労働合同フォーラムについて生活問題対策委員会に対する困難や悩み事、相談したい事等、その他

## ９．手話普及啓発事業

（１）若者対象手話講座の実施

県内の高等学校、大学に在籍する学生を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開

催しました。

【回数】133 回

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）

手話講座

（２）出前手話講座の実施

県内の施設、団体、企業等で勤める職員等を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】14 回

【場所】企業、事業所、団体 等

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）

手話講座、接客方法の体験 等

（３）親子向け（聴覚障害児等）手話教室「ひよこ」

聴覚障害児に手話等に触れながら、手話を通じたコミュニケーションを図る教室を開催する。

【開催回数】５回　　感染症対策のため動画配信を実施

（４）講師スキルアップ講座の開催

手話通訳養成講座（通訳Ⅲ）指導のレベルアップ　11 回　受講者９人

（５）手話通訳者レベルアップ講座の開催

手話通訳者をめざす人の通訳レベルアップを図るための講座を開催しました。

令和２年 10 月 10日（土）～11 月３０日（月）

５会場（神戸、西脇、赤穂、宝塚、豊岡）×各４回　計 20 回

受講者　３７名

## 10．たじま聴覚障害者センター

（１）就労継続支援Ｂ型事業

令和２年度は、従来の通り障害者総合支援法のうち就労継続支援Ｂ型事業を利用して但馬地域に在住する障害者のうち、主に聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と請負作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施しました。

新型コロナウイルス影響により、請負作業のメインであったポリちぎり作業が入って来なくなったが、それに代わるプラコップシール貼り作業を始めたので、請負収益は維持することができました。しかし外出自粛により道の駅での売り上げが減ったのと行事等が中止になりバザー販売がなくなり、販売収益は昨年度の約半分に減少した結果となりました。

ア．日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）　午前９時～午後５時

イ．場所

豊岡市城南町２３番６号　豊岡健康福祉センター２階

ウ．定員・利用実績

１９名・延べ３，４３４名

エ．作業内容

・請負作業：ポリちぎり作業、自動車部品ゴムバリちぎり作業、牛革製品両面テープ貼り

作業、ランドセル手縫い工程作業、プラコップシール貼り作業。

・自主作業：アルミ缶、段ボール、新聞紙回収・自主製品製作、販売

（２）相談支援事業

令和２年度は、従来の通り豊岡市内在住の障害者、障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用等の立場に立った適切な指定計画相談支援事業を実施しました。

新型コロナウイルスの影響により訪問、利用者の来所での直接面談の代わりに電話、メール、ＦＡＸ、郵送で対応しました。

令和３年度４月分より要医療児支援体制加算を取れるよう、医療的ケア児コーディネーター養成研修を修了しました。

ア．日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）　午前９時～午後５時

イ．場所

豊岡市城南町２３番６号　豊岡健康福祉センター２階

ウ．件数

・計画作成　７５件

・モニタリング　１１１件

・基本相談１２件

（３）児童通所支援事業

児童福祉法のうち、児童発達支援事業、放課後等デイサービスを利用して豊岡市内に在住する障害児が日常生活おける基本的動作指導、集団生活への適応訓練 、生活向上のために必要な支援など実施しました。

令和２年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令され、豊岡聴覚特別支援学校と出石特別支援学校が３月初めから５月半ばまで臨時休校となった。その間も感染予防対策をしっかり行い、利用者の受け入れをしました。

市内の放課後等デイサービス事業所の増加に伴い、事業所間の競争が生じており、特色ある事業所として発信できず、安定した運営が困難な状況になっています。子ども一人ひとりのニーズに応じた支援や家族の支援も含め、専門的な支援体制の構築が課題として残っています。

ア．日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）　午前１０時～午後５時

イ．場所

豊岡市城南町２３番６号　豊岡健康福祉センター２階

ウ．定員・利用実績

・延べ２６名（児童発達支援）、延べ 500 名（放課後等デイサービス）

（４）意思疎通支援事業

令和２年度は、従来の通り但馬地域における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および要約筆記者派遣事業を受託して実施しました。

新型コロナウイルスの影響により開始日の延期がありましたが、対策を万全に整えて実施した結果、

無事に終えることができました。

ア．豊岡市手話奉仕員養成事業

・日程：7月１１日（導入課程・１回)、８月１日～３月６日（入門課程・全２４回）

・場所：豊岡健康福祉センター

・受講者数：２４名（導入課程)、２１名（入門課程）

イ．養父市朝来市合同手話奉仕員養成事業

・日程：６月３日～10月28日（入門課程・全２１回）

・場所：和田山公民館

・受講者数：１１名

ウ．香美町手話奉仕員養成事業

・日程：６月５日～１２月４日（基礎課程・全２５回）

・場所：村岡区中央公民館

・受講者数：１１名

エ．新温泉町手話奉仕員養成事業

・日程：７月２日～１２月１０日（入門課程・全２１回）

・場所：浜坂多目的集会施設

・受講者数：７名

オ．豊岡市要約筆記者派遣事業

・派遣実績：８件

カ．豊岡市登録手話通訳者現任研修

・日程：８月２１日、９月１１日、11月２０日、３月９日、３月１９日（全５回）

・場所：豊岡健康福祉センター

・受講者数：延べ３１名

## １１．はりまふくろうの家

令和２年度は、障害者総合支援法の就労継続支援Ｂ型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害者のうち、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行いました。

姫路市が進める６５歳以上の障害者を介護保険サービスに移行させる問題(６５歳問題)により、姫路市内在住の65歳以上の利用者の支給量に制限があり、当事業所に通いたくても通えないという状況があります。姫路市としては、70歳で就労継続支援Ｂ型事業の利用が打ち切り(利用終了)としており、令和２年５月に１名支給打ち切りが確定、その後令和４年までの間で３名が７０歳となるため、就労継続支援Ｂ型事業の利用打ち切りが見込まれています。きょうされん(成人期の障害のある人たちが、地域で 働く・活動する・ 生活することを応援する事業所の全国組織)兵庫支部の中部ブロック会議に出席し情報交換や、きょうされん兵庫支部より、県と姫路市へ要望書を提出しています。また、きょうされん兵庫支部を通じて姫路障害者連絡協議会の役員会で65歳問題の現状報告、姫路市との要望書に関する懇談会に出席しました。

（１）日時

月曜日～金曜日　午前８時３０分～午後４時

（２）場所

姫路市東延末２-５１　中川ビル１Ｆ　事業所内・外

（３）定員・利用実績

１８名・延べ 1,566 名

（４）作業内容

ア．請負作業：箸入れ、昆布の袋詰め、素麺の箱折り等

イ．自主作業：おにぎり・お弁当、お菓子、畑作業

月曜日と金曜日はＡ型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は市役所ロビー（2～３回/月）、すこやかセンター（1 回/月）で姫路作業所連絡会の加盟事業所としてハートフルショップで販売しており、ほぼ完売しています。「はばたけ中播磨の授産品」コンクールでラスクが受賞し、主催の西はりま地場産業センターを通して行政機関から注文も頂きました。中播磨県民センター、視覚障害者協会、姫路聴覚特別支援学校等からお弁当のご注文頂きました。しかし、年度末はコロナウイルス感染拡大の為、ほぼ販売は中止され、店頭販売での注文も減少傾向になりました。

（５）その他

令和２年１月に知的障害者１名契約(週２日程度利用)。(令和２年４月に１名知的障害者契約)

（６）年間行事

節分、お花見、七夕、バーベキュー、文化祭、法人内作業所交流会、日帰りバス旅行（淡路）

クリスマス会、「障害者虐待」の市政出前講座、避難訓練

## １２．にしのみや聴覚障害者センター

障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターとして、平成２６年４月に開所。令和２年度は、聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むため、日常生活に関する学習や悩み事相談、その他の機会を提供しました。また、当事業所に通う仲間たちが共通するコミュニケーション「手話」を通して、共に学び会い、支え合う場として活動しました。新型コロナ感染症拡大防止の為に、利用者に手洗い、うがいを徹底し、体温などの管理、作業の時間短縮などの取り組み、そして利用者に「新型コロナ感染がどのようにして起こるのか？」テーマとして、「ＮＨＫのクルーズ船の接触感染実験証」を見てもらい、コロナ感染対策が必要と繰り返し学習しました。また、基礎疾患者には個別に注意を促しました。

（１） 日時（利用者時間）

月曜日～金曜日　10 時 ～ 16 時

※時間短縮の時　13 時　～　15 時

（２）場所

西宮市馬場町５－７　メゾン・カトー２０１号室　事務所内

（３）定員・利用実績

１０名・延べ１，５６３名

（４）作業内容

請負作業：アイラブユーキーホルダー、シール貼り、封入作業　他

（５）その他

ア．学習会

・１月：「パワハラ」・「セクハラ」という言葉を理解する為に「職場のパワーハラスメントを考える」テーマとして学習

イ．手話サロン

市内のろうあ協会・手話サークル会員へ声を掛け、手話サロンを開催。

- ８月：ゲーム、利用者が落語を披露
- ９月：ゲーム、「私はだれ、指示しているのは誰？」
- １０月：ゲーム、学生時代の思い出のお話。
- １１月：ゲーム、背中に書いたのは何？テーマで短文
- １２月：食事会（利用者と職員のみ）

※社会福祉協議会の「コロナ禍における施設利用者・地域応援事業」の補助

## １３．尼崎聴覚障害者センター

### （１）たつのころうあハウス （就労継続支援Ｂ型事業）

主にろう重複障害者や、就労・生活に困難を抱える聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、請負作業、自主製品、施設外就労等の就労の場を提供し、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミュニケーション方法にあわせた支援を行っています。令和 2 年度はコロナ感染拡大のため緊急事態宣言を受け、自宅で保護者と待機できる方は待機していただいたり、事業所も密にならぬよう人数の調整や部屋を分けて少人数で作業をしました。毎日の検温・消毒・マスク着用の徹底、昼食時や生活の中での注意など繰り返し利用者に説明を行い、見てわかるように展示を増やしました。作業も少なくなり、工賃も多く支払うことが厳しかった１年でした。

ア．日時

月曜日～金曜日　午前９時～午後５時（仲間の作業は１０時～１５時半）

土・日・祝の開所日あり（不定期）

イ．場所

尼崎市立花町４－８－１２

ウ．定員・利用実績

２０名・延べ 2773 名

エ．作業内容

- 請負作業：紙袋作業、ラベル貼り作業・チラシ作業・箱折・販売用セット・ネジ・新聞作業
- 自主作業：自主製品製作（ポプリ・ルームスプレー）販売
- 施設外：　（情報センター掃除・ポスティング・草抜き）

オ．その他

- 尼ウェルフェア（販売・啓発）

### （２）たつのこ工房（地域活動支援センター）

新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言により令和２年度は営業休業・販売中止があった為、売上・工賃が減少になりました。感染症対策について利用者へ情報提供し、それぞれの健康管理を図り、ニュース等の内容を日々伝え視野と見聞を広げる様に支援していきました。

ア　日時

月曜日～金曜日　10 時 ～ 16 時

イ．場所

尼崎市立花町２－６－２３

ウ．定員・利用実績

１４名・延べ 1,669名

エ．作業内容

請負作業：うどん製造・販売／ダッタンそば茶袋詰め入れ／乾燥糸こんにゃく袋詰め入れ
マスク縫製

施設外作業：ポスティング・イベントでのうどん販売

オ．その他

・緊急事態宣言に伴い、月１回のレクリエーションは取りやめ、３密を避けながら、うどん製麺・こんにゃく詰め作業・そば茶詰め作業・マスク作りをしました。
宣言の解除後の作業は室内にこもりがちで利用者のストレス解消に室内でレクリエーションを再開して、楽しく過ごす事が出来ました。
〇尼うぇるフェア　〇簡単料理

## 公ー２　兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業

身体障害者福祉法第３４条に定める聴覚障害者情報提供施設の機能を有し、聴覚障害者の社会参加と自立を援助し、生活・文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に運営を行いました。

設置：兵庫県・神戸市

運営（指定管理者）：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通１－１－１神戸市立灘区民ホール２Ｆ

開館日及び時間　火、水、木、金、土　午前９時～午後６時

### １．意思疎通支援事業

（１）手話通訳者養成研修事業

ア．手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施しました。

・通訳Ⅰ

日時：６月２６日（火）～２月２７日（火）全３６回

開催地：川西市

受講者：１５名（うち修了者１４名）

・通訳Ⅱ

日時：６月２３日（火）～３月１６日（火）全３４回

開催地：たつの市

受講者：１６名（うち修了者１５名）

・通訳Ⅲ

日時：６月１１日（木）～９月１７日（木）全１１回

開催地：三田市

受講者：１２名（うち修了者１２名）

・強化事業　通訳Ⅰ

日時：１０月１７日（土）～２月２７日（土）全３６回

開催地：豊岡市

受講者：１０名（うち修了者８名）

イ．手話通訳者全国統一試験事業

・開催日：令和２（２０２０）年１２月５日（土）

合格発表：令和３（２０２１）年３月１７日（水）

会場：兵庫県立のじぎく会館

受験者：１００名

合格者：１７名

（２）要約筆記者養成研修事業

ア．要約筆記者養成事業

・要約筆記者養成講座 パソコンコース（後期）

日　時：７月４日～１１月４日（土）　全１７回（４７時間）

会　場：たつの市
受講者：６名（うち修了者６名）
・要約筆記者養成講座 手書きコース（パソコンコース修了者対象）
日　時：10 月３日～令和３年２月６日（土）全 14 回（42 時間）
会　場：三田市
受講者：８名（うち修了者７名）
・強化事業　要約筆記者養成講座 手書きコース（パソコンコース修了者対象）
日　時：10 月 23 日～令和３年１月 29 日（金）全 14 回（42 時間）
会　場：明石市
受講者：７名（うち修了者７名）
・要約筆記フォローアップ講座（手書きコース・パソコンコース）
日　時：（手書き）令和３年１月９日、30 日（土）　（ＰＣ）１月 16 日、２月６日（土）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
受講者：（手書き）18 名　（PC）20 名

・要約筆記者指導者養成研修（聴力障害者情報文化センター主催分）
受講者なし

イ．全国統一試験要約筆記者認定試験
日　時：令和３年２月２１日（日）
会　場：兵庫県立のじぎく会館
受験者：65 名（手書きのみ 23 名、ＰＣのみ 29 名、両方 13 名）

（3）手話通訳者派遣事業
ア．登録状況
登録状況(手話通訳)　令和３年３月３１日現在
２８９名（認定登録５５名、Ｂ登録６７名、Ｃ登録１６７名）
イ．研修会
初任者研修
・日　時：９月２６日（土）10:00～12:00 ※コロナのため延期して開催
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：令和元年度手話通訳者全国統一試験合格者２４名が対象。
情報センターの概要、ひょうご通訳センターの運営
派遣事業の概要、報告書の書き方等
受講者：１４名
手話通訳者研修会
基本研修(要約筆記登録者研修と合同開催)
・日　時：７/３・４、7/11、7/18、8/7、8/8、8/20
・会　場：丹波市、豊岡市、赤穂市、加東市、姫路市、洲本市、宝塚市
Zoom 使用し情報センターにて同時開催 7/11、29、8/7、8/8

・内　容：登録更新制の導入説明、依頼書の読み方、報告書の書き方、派遣事業について

知識研修

・8月1日（金）１3:３０～１6:００

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内　容：「遠隔通訳」Zoom のみ

受講者：３１名

・令和３年１月９日、１６日、２３日、３０日（毎週土）

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内　容：「遠隔手話通訳」Zoom と県のシステムを使った少人数研修

受講者：１５名

技術研修

・9月１9日（金）１3:３０～１6:００

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内　容：「読み取り通訳」

受講者：58 名

・日　時：１１月２８日(土)

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内　容：手話通訳・要約筆記合同研修会「遠隔通訳サービス体験」

・日　時：１月２３日（土）１０：0～16:00

ウ．兵庫県公費派遣事業

手話通訳者派遣事業（県公費）

年間：４０件

総派遣人数：６５名

エ．市町村公費派遣事業

年間：５１１件

総派遣人数：６０２名

オ．兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業

年間：１０１件

総派遣人数：１６２名

（４）要約筆記者派遣事業

ア．登録状況

１２３名（令和３年３月３１日現在）

イ．現任研修会

・日　時：8月１５日（土）

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内　容：派遣事業について、機材設営実習

受講者：12 名

・日　時：10 月 22 日（木）

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内　容：午前：手書き　「要約筆記のいろいろな方法と工夫」
　　午後：パソコン　「Ｉｐtalk の周辺機能を使ってみよう」」での要約筆記
受講者：午前 18 名　午後 27 名

・日　時：12 月 19 日（土）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：遠隔情報保障の方法の紹介と実習
受講者：８名

・日　時：3月 11 日（木）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内　容：兵庫の難聴事業をもっと知ろう！Part３
受講者：12 名

・日　時：12 月４日（金）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内　容：少人数制オンライン研修（テーマ：模擬現場実習「難聴者の体験談と座談会」の情報保障）
受講者：６名

・日　時：１月 12 日（火）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内　容：少人数制オンライン研修（テーマ：模擬現場実習「難聴者の体験談と座談会」の情報保障）
受講者：５名

・日　時：１月 26 日（火）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内　容：少人数制オンライン研修（テーマ：模擬現場実習「難聴者の体験談と座談会」の情報保障）
受講者：６名

・日　時：２月５日（金）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内　容：少人数制オンライン研修（テーマ：模擬現場実習「難聴者の体験談と座談会」の情報保障）
受講者：６名

・日　時：10 月２日（金）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内　容：手話通訳者・要約筆記者合同研修会「ピラティス」
受講者：11 名

ウ．兵庫県公費派遣
年間：39 件
総派遣人数：111 名

エ．市町村公費広域派遣
年間：53 件
総派遣人数：113 名

オ．兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業にかかる派遣調整

年間：13 件

総派遣人数：43 名

（5）けいわん健診

令和２年度は、新型コロナ感染防止の観点から検診時の密を避ける方法が確認できず、県での実施を早期に見送り、各市町での小規模な検診に委ねました。

（6）各担当者会議、研修会

ア．コーディネーター研修会（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に開催しました。

日　時：10 月 15 日（木）13:30～16:00

場　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・豊岡健康福祉センター・Zoom

内　容：情報交換（新型コロナ関連、遠隔手話通訳サービス、認定試験、手話言語条例等）

受講者：58 名（1 県・26 市町・6 事業所）

イ．意思疎通支援業務担当者会議（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催しました。

日　時：9 月 17 日（水）13:00～16:30

場　所：あすてっぷＫＯＢＥ・豊岡健康福祉センター

内　容：講演 「相談事業の役割と意思疎通支援事業との連携」

講師：滋賀県立聴覚障害者センター 相談員 中西久美子氏

受講者：42 名（1 県・24 市町・3 事業所）

ウ．要約筆記コーディネーター情報交換会

日　時：3 月 24 日（水）10：00～12：30

場　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内　容：「県難聴者協会より新型コロナウイルス関連アンケートの報告」「オンライン会議・研修等での要約筆記の取り組み」「意見・情報交換」

受講者：24 名（17 市町・1 事業所）

## 2．相談支援事業

（1）ろうあ者・難聴者相談・移動相談

ア．年間相談件数：36 件（移動相談も含む）

イ．相談内容

- 情報格差が招くトラブル、夫婦間トラブル、介護問題、独居高齢者の問題など
- コロナ禍となり新しい生活様式に移行することで生まれた課題　など
- 制度内容の説明

ウ．移動相談実施時に支援者対象企画の開催

・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（佐用町）
日　程：１１月　６日（金）13:30～16:00
会　場：佐用町 役場西館２階 防災会議室
受講者：８名

・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（宝塚市）
日　程：12月１１日（金）13:30～16:00
会　場：宝塚市 中央公民館 ２０８、
受講者：３名

・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（西脇市）
日　程：１月１５日（金）13:30～16:00
会　場：（西脇市） 茜が丘複合施設みらいえ 会議室１
受講者：４名　※感染症対策により、オンライン講座にて実施

（２）聞こえの相談

ア．年間相談件数：131 件

イ．相談内容

・きこえ、補聴器相談（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、FM 補聴器、人工内耳について など）
・福祉機器の相談（高齢に伴う聴覚補償、会社内における聴覚補償　など）
・コミュニケーション（職場内、親子間、　など）
・生活相談（軽中度難聴者の求職、福祉制度、日中活動　など）
・子どもの難聴について（難聴発覚後の療育、発音指導、学習支援、進路、補聴器、情報補償など）
・関係機関からの相談（難聴児者のケース相談、難聴者対象の事業実施について）
・弱視難聴者からの生活相談、補聴器の相談など

（３）こころの相談

ア．年間相談件数：84 件

イ．相談内容

・発達障害（疑いも含める）、自分の親、子どもとの関係（コミュニケーションなど）
・悩みや不安の解消
・職場における人間関係（周囲の理解やコミュニケーションなど）
・たじま聴覚障害者センターでの、放課後等デイサービスにおけるスーパーバイザー（助言者）
利用されている子どものアセスメントや職員への助言
・就労支援事業所職員（姫路）から利用者に関する相談

**３．中途失聴者難聴者コミュニケーション訓練事業**

**（１）地域会場**

・日　時：5月9日、16 日、23 日（土）全３回　13:30～15:30
内　容：読話
講　師：岡恵子氏
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

受講者：感染症対策のため中止

・日　時：６月２０日、７月１１日、２５日（土）13:30～15:30
内　容：手話
講　師：庄司美絵氏
会　場：西宮市中央公民館
受講者：１１名

・日　時：１月１０日（日）10:00～12:00
内　容：読話
講　師：岡恵子氏
会　場：南あわじ市中央公民館
受講者：感染症対策のため中止

・日　時：３月２１日（日）10:00～12:00
内　容：読話
講　師：岡恵子氏
会　場：洲本市やまて会館（総合福祉会館）
受講者：８名

（２）難聴者のための手話教室

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

・手話入門
日　時：６月６日、１３日、２０日（土）全３回 13:30～15:30
講　師：石井加代子氏、鎌田種子氏
受講者：１１名

・初級水曜コース
日　時：７月 22 日、29 日、８月５日、12 日、26 日　13:30～15:30
会　場：情報センター　サロン
講　師：庄司美絵氏
受講者：７名

・初級土曜コース
日　時：６月 27 日、７月４日、18 日、８月８日、２９日　13:30～15:30
会　場：情報センター　サロン
講　師：加藤めぐみ氏
受講者：８名

・中級水曜コース
日　時：10 月 28 日、11 月 11 日、25 日、12 月２日、23 日　13:30～15:30
会　場：情報センター　サロン
講　師：阪倉智永子氏
受講者：10 名

・中級土曜コース
日　時：10 月 31 日、11 月７日、14 日、21 日、28 日　13:30～15:30

会　場：情報センター　サロン
講　師：庄司正氏、太田稔氏
受講者：10名

・上級コース
日　時：1月16日、23日、30日、2月6日、13日（土曜日）　13:30～15:30
会　場：情報センター　サロン
講　師：仲光恵氏
受講者：感染症対策のため中止

## 4．ろうあ者社会生活教室

・日　時：9月12日（土）13:30～16:00
会　場：神戸市障害者福祉センター会議室ＡＢＣ（神戸市立総合福祉センター４階）
内　容：手話フォーラム「手話通訳者を育てるために」
講　師：繁益陽介氏（全国手話研修センター）
参加者：３１名

・日　時：9月21日（月・祝）13:30～15:00
会　場：神戸市立長田区文化センター３階大会議室
内　容：こうれいしゃ講演会「過去・現在・未来」（むかし・いま・これから）
講　師：　吉田正雄氏　（一般社団法人京都府聴覚障害者協会手話対策部長）
参加者：77名

・日　時：2月7日(日)　10：00～12：00
内　容：青年部＆スポーツ部「きこえない俳優とその生い立ち」～夢を追い続け、叶えるまで～
オンライン学習会（ZOOM）
講　師：藤田　菜々子氏
参加者：54名

・日　時：2月27日（土）10:00～12:00
内　容：ひょうご労働・福祉２０２０「地域が直面する新型コロナウイルスに関する課題について」
講　師：橋詰一則氏・岩本吉正氏　（公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会理事）
オンライン学習会（ZOOM）
参加者：１５名

・日　時：3月28日（日）15:30～16:45
内　容：第２３回ろう教育学習会「私が受けた『ろう教育』」
講　師：中村　泰輔氏　（公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会理事）
オンライン学習会（ZOOM）
参加者：４８名
※新型コロナウイルス感染症対策のため、「女性セミナー」は中止。

## 5．難聴者教室事業

（１）たじま地域難聴者教室「聞こえを学ぶ集い」
日　時：3月6日（土）13:30～15:30

会　場：豊岡健康福祉センター２階ボランティアセンター
内　容：座談会「新型コロナ禍のコミュニケーション」、
　　レクレーション「大型八角輪投げ」「スカットボール」
参加者：４名

（２）手話歌を楽しもう
日　時：年間５回水曜　13:30～15:30
　　感染症対策のため、２回中止
会　場：情報センター　サロン
内　容：講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。
　　要約筆記配置。
参加者：延べ 27 名

（３）読話サークル「ひまわり」
日　時：年間５回水曜 13:30～15:30
　　感染症対策のため、２回中止
会　場：情報センター　サロン室
内　容：講師は言語聴覚士。読話手話入門講座修了者有志が中心の集まり。要約筆記配置。
参加者：延べ 38 名

（４）手芸サークル
日　時：毎月第４水曜 13:30～15:30）
　　感染症対策のため、５回中止
会　場：情報センター　サロン室
講　師：中途失聴の為に講師業を辞めていた方。再び指導できる場を提供。要約筆記配置。
製作品：パッチワーク、手芸小物品など
参加者：４名

## ６．聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

（１）中途失聴難聴事業推進委員会の実施
難聴・要約筆記の４団体（(特非)兵庫県難聴者福祉協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記サークルこうべ）と、情報センターとで兵庫県内全域の難聴者福祉を考えることが目的です。今年度は、要約筆記検討会と合同で開催。
日程：6/27
内容：情報交換、課題共有

ア．.家庭部会
日　程：8/27、9/23、10/20、1/27
企　画：web アンケートの実施（①保護者、②小学生、③中学生以上　対象）
　　「聞こえない・聞こえにくい子どもたちの学びを考える」

回収数：保護者 25 件、小学生７件、中学生以上３件
報告書：兵庫県難聴児親の会 HP に掲載

イ．社会生活部会
日　程： 9/25、10/16、3/4
内　容：コロナ禍の感染症対策について意見交換、所有機器アンケートの実施とマップ作りの開始

ウ．労働部会
日　程：7/25、8/22、9/19、10/24、11/21、12/5、1/30、2/13
企　画：第２回　労働懇談会
内　容：「聞こえる・聞こえない・聞こえにくい社員が混在する中で、
どのようにオンライン会議を構築するか」
模擬会議を zoom で実施し、会場参加と youtubelive で限定公開した。
日　時：３月１３日（土）13：00～16：00
場　所：情報センター　会議室・サロン室

（２）聴覚障害者文化祭
感染症対策のため、中止

（３）聞こえの相談と交流会
ア．難聴者向け手話講座の情報保障者研修会
日　時：２月２７日（土）13：30～16：30
会　場：姫路市総合福祉会館
内　容：難聴者手話講座の考え方・実習
講　師：加藤めぐみ氏（県難聴）
参加者：21 名

イ．電話リレーサービスについて学ぼう
日　時：３月６日（土）13：30～15：30
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：電話リレーサービスについて
講　師：小竹安治氏（滋賀県立聴覚障害者センター）
参加者：20 名

（４）ふれあいサロン
聴覚障害者と健聴者が自由に交流できる場として情報センター「情報サロン」室で実施しました。
第１回　６ 月３日（水）13:00～16:00　中止
第２回　10 月７日（水）13:00～16:00　24 名
第３回　12 月 12 日（水）13:00～16:00　46 名
「双人変面スター来たる！」企画を開催。整理券配布し、２回公演を実施した。
第４回　２ 月３日（水）13:00～16:00　中止

（５）聴覚障害児とママ&パパ交流会

感染症対策のため中止

## ７．聴覚障害者災害対応訓練事業

感染症対策のため中止

## ８．聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「おしらせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されている。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信しました。

（登録件数　　お知らせ情報：１０，７９８件　緊急情報：１４，３２４件）

## ９．情報機器の利用・貸出し事業

聴覚障害者への情報保障に必要な、ヒアリングループ（磁気誘導ループ）、ＯＨＣ、モバイルスクリーン、ビデオプロジェクター、要約筆記表示用パソコン等の情報機器の貸出を行った。

## １０．字幕入りビデオライブラリー運営事業

字幕入り映像作品及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。

任期満了作品の処分と新規作品の追加作業を実施しました。（年間貸出し本数：11 本）

## １１．ＩＴ機器活用研修事業

（１）パソコン相談

聴覚障害者向けにパソコン相談を開催した。

ア．　パソコン相談（平日）

日　時　：随時
場　所　：情報センター情報機器利用室
受付者　：職員
件　数　：12 件

イ．　パソコン相談（土曜）

日　時　：毎月１回、第３土曜日を基本に調整（※コロナで変更。緊急対応あり）
6/20、8/22、10/24、12/12、12/19、1/16、1/30
場　所　：情報センター情報機器利用室
受付者　：PC 相談員
件　数　：21 件

ウ．　但馬地域パソコン相談

日　時　：隔月１回　第２土曜日、第４土曜日のいずれか（13:00～17:00 予約制）
７月 11 日、８月 29 日、９月 12 日、11 月 14 日、１月 30 日、３月 13 日
場　所　：たじま聴覚障害者センター
受付者　：聴覚障害者相談員
件　数　：12 件

エ．　イベント型パソコン・スマートフォン相談会・Zoom＆IT 相談会

日　時 ：１月１６日（土）10:30～16:40　　１人４０分ずつ
場　所 ：神戸会場　 情報センター会議室兼研修室
内　容 ：オンライン・スマホ相談会　パート１　（ソフトバンク）
参加数 ：10 人

日　時 ：１月３０日（土）10:30～16:40　　１人４０分ずつ
場　所 ：姫路会場　 姫路国際交流センター　会議室１
内　容 ：オンライン・スマホ相談会　パート２　（ソフトバンク）
参加数 ：４人

日　時 ：2月6日（土）10:30～16:40　　１人４０分ずつ
場　所 ：淡路会場　洲本市健康福祉館３階　会議室
内　容 ：オンライン・スマホ相談会　パート３　（ａｕ）
参加数 ：５人

日　時 ：2月２７日（土）１３30～16:40　　１人１時間ずつ
場　所 ：神戸会場　　情報センターIT 室、会議室兼研修室
内　容　：Ｚｏｏｍ＆ＩＴ相談会
件　数 ：12 人

（2）ＩＴ学校及びパソコン講習会
聴覚障害者向けにＩＴ学校及び PC 講習会を実施しました。
日　時 ：8月1日（土）10:00～10:30
会　場 ：たちばな研修センター　研修室
内　容 ：ＩＴ学校　第 38 講「電話リレーサービスって何？」
受講者 ：17 名

日　時 ：8月1日（土）14:00～16:00
会　場 ：たちばな研修センター　研修室
内　容 ：ＩＴ学校　第 39 講 「遠隔手話通訳って何？」
受講者 ：13 名

日　時 ：8月１３日（木）　14:00～16:00
会　場 ：神戸市勤労会館　403.404 講習室
内　容 ：ＩＴ学校 第 40 講 ドコモ・ハーティ講座「タブレット体験講座！
～便利な使い方を学ぼう～」　※コロナで中止

日　時 ：8月２２日（土）　14:00～16:00
会　場 ：神戸市勤労会館　403、404 講習室
内　容 ：ＩＴ学校　第 41 講　　スマホ・タブレット活用講座

遠隔コミュニケーション①スカイプ・LINE 編
受講者 ：１１名

日　時 ：8月２９日（土）14:00～16:00
会　場 ：神戸市勤労会館　403.404 講習室
内　容 ：ＩＴ学校　第 42 講　　スマホ・タブレット活用講座
遠隔コミュニケーション②　Zoom 編
受講者 ：16名

日　時 ：10月3日（土）　13:30～14:10
会　場 ：情報センター　会議室
内　容 ：ＩＴ学校　第４３講　　スマホ・タブレット活用ミニ講座
～オンライン配信って？～
受講者 ：２３名

日　時 ：10月3日（土）　14:15～16:00
会　場 ：情報センター　会議室
内　容 ：ＩＴ学校　第４４講　　スマホ・タブレット活用講座
～災害時における ICT 活用～
受講者 ：２１名

日　時 ：10月１４日（水）　14:00～16:00
会　場 ：中央労働センター　小ホール
内　容 ：ＩＴ学校　第 45 講 兵庫県警合同 「スマホ・タブレット活用講座」
～インターネット安全講座～
受講者 ：２０名

日　時 ：10月３１日（土）　10:30～12:00
会　場 ：情報センター　会議室兼研修室
内　容 ：ＩＴ学校　第 46 講 「スマホ・タブレット活用講座」
～5G って　何？～
受講者 ：２１名

日　時 ：10月３１日（土）　13:00～17:00　１人４０分ずつ
会　場 ：情報センター　会議室兼研修室
内　容 ：「スマホ・タブレット活用講座」 オンライン個別相談
受講者 ：７名

## １２．聴覚障害者向けビデオ自主制作事業

（１）聴覚障害者向けビデオの自主制作

聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸出し

や関係機関、団体への配布等を行いました。

- 「モルディブのあれこれ」　　ダスキン研修生第21期アーワン・ムハンマド氏
- みんなの声かけ運動　　「聴覚障害者編」
- 「電話リレーサービスについて」　　滋賀県立聴覚障害者情報センター 小竹安治 氏
- 「遠隔手話通訳について」　　滋賀県立聴覚障害者情報センター 小竹 安治 氏
- 第４７回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい　　（西脇市）
- 行政職員向け手話研修動画第1話　　『基本的な手話を学びましょう』

（２）関係団体及び行政機関との合同制作及び制作協力

- 優生保護法被害国賠訴訟　歩む兵庫の会集会
- ２０１８・２０１９年度統一試験学習会ＤＶＤ
- ２０２０年度統一試験学習会ＤＶＤ
- ひよこ「わにのかぞく」手話配信（子供向け）
- ひよこ「くいしんぼごりらのうた」手話配信（子供向け）
- ひよこ「さかながはねて」手話配信（子供向け）
- ひよこ「サンタさんからきたてがみ」手話配信（子供向け）
- ひよこ「ぐりとぐらのおきゃくさま」手話配信（子供向け）
- ２０２０年度兵聴協手話通訳者問題認定試験ＤＶＤ
- 全日本ろうあ連盟　新型コロナウイルス危機管理対策本部
  「新型コロナワクチン接種の手続きと注意について」

（３）ＣＳ障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供・協力

兵庫からの情報番組として、ＣＳ放送「目で聴くテレビ」へ映像提供、取材協力を行いました。

提供１　加東市の取り組み「聴覚障害者国語教室」
提供２　つつうらうら　「神戸長田ふくろうの杜」開所式・ふくろう食堂オープン

（４）聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

従来のビデオライブラリー貸し出しに加え、映像用のホームページ及びブログを活用し、
インターネット上で動画配信を行いました。（全 28 本　神戸市動画事業映像６本含む）

提供１　新型コロナウイルス①「兵庫県相談窓口　聴覚障害者用ＦＡＸについて」
提供２　新型コロナウイルス②「兵庫県新型コロナ対策パーソナルサポート」
提供３　新型コロナウイルス③「クラスター発生を避ける３つの条件について」
提供４　新型コロナウイルス④「緊急事態宣言について」
提供５　新型コロナウイルス⑤「新型コロナウイルス関連の用語について」
提供６　新型コロナウイルス⑥「緊急事態宣言に伴う兵庫県の動きについて」
提供７　新型コロナウイルス⑦「コロナウイルスに感染症に便乗した詐欺について」
提供８　新型コロナウイルス⑧「新型コロナウイルス感染症の新たな相談・受信の目安について」
提供９　新型コロナウイルス⑨「新型コロナウイルス感染症に伴う各種支援について」
提供 10　新型コロナウイルス⑩「兵庫の新たな生活様式①「ひょうごスタイル」について」
提供 11　新型コロナウイルス⑪「兵庫の新たな生活様式②「ひょうごスタイル」について」
提供 12　新型コロナウイルス⑫「兵庫の新たな生活様式③「ひょうごスタイル」について」
提供 13　新型コロナウイルス⑬「情報センターに来られる時のお願い」

提供 14　お知らせ①「電話リレーサービスと遠隔手話通訳って何？」
提供 15　お知らせ②「タブレット体験講座」
提供 16　お知らせ③「スマホ・タブレット活用講座」
提供 17　新型コロナウイルス⑭「兵庫県新型コロナ追跡システムについて」
提供 18　緊急配信「台風 10 号に注意してください」
提供 19　お知らせ④「インターネット安全講座」
提供 20　新型コロナウイルス⑮
「新型コロナ健康相談コールセンターでの遠隔手話通訳対応について」
提供 21　新型コロナウイルス⑯「病院での遠隔手話通訳サービス利用について」
提供 22　新年のあいさつ
提供 23　新型コロナウイルス⑰「緊急事態宣言　徹底宣言について」
提供 24　スマートフォン・タブレットで Zoom にゲスト参加する手順
提供 25　「神戸長田ふくろうの杜」地鎮祭
提供 26　「神戸長田ふくろうの杜」上棟式
提供 27　「神戸長田ふくろうの杜」食堂オープン
提供 28　行政職員向け手話研修動画第 1 話　『基本的な手話を学びましょう』

## １２．聴覚障害者向けビデオ自主制作事業

（５）ICT 指導者養成講座（令和２年度新規事業）

ア　日　時：１１月7日（土）、14 日（土）、21 日（土）、28 日（土）13:00～16:00
場　所：　神戸市産業振興センター　パソコン研修室
内　容：　IT 講師養成講座「Word 編」
受講者：７名

イ　日　時：１２月５日（土）、12 日（土）、19 日（土）　13:00～16:00
場　所：神戸市産業振興センター　パソコン研修室
内　容：　IT 講師養成講座「Word 編」
受講者：７名

（主な会議・研修会への出席の箇所）

ア．　聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会
日　時：11 月 13 日（水）～15 日（金）開催予定
場　所：新潟県立聴覚障害者センター
コロナのため中止

イ．　聴覚障害者の情報メディアに関する委員会
日　時：７月１６日（火）、３月２日（火）
場　所：Zoom オンライン会議
内　容：研修会の企画、・準備、助成金事業への協力作業等

## １３．その他

（１）　神戸市手話動画制作事業（神戸市からの受託事業）

神戸市より手話動画制作依頼を受けて手話動画を制作し、神戸市ホームページ等で配信しました。

ア、内容および配信（予定）
１回・観光編　第７話「長田区」
（聴導犬って何？）

２回・観光編　第８話「北区」
（手話は世界共通なの？）
３回・観光編　第９話「西区」
（手話への理解は広がっていますか？）
４回・地域生活編　第１話「コンビニ」
（買い物に行ったとき）
５回・地域生活編　第２話「ホテル」
（旅行に行ったとき）
６回・地域生活編　第３話「医療」
（病院に行ったとき）

イ、制作物及び配信場所
制 作 物：手話動画（ＤＶＤ）
配信場所：神戸市 HP、兵庫県立聴覚障害者情報センターHP、
YouTube（兵庫県立聴覚障害者情報センターのサイト）、全日本ろうあ連盟 HP

ウ、平成 27 年度から引き続き、神戸市と兵庫県立聴覚障害者情報センター、神戸ろうあ協会等で協議を重ね今年度で６年を経過しました。今年度前半３回は、昨年度から引き続き「神戸市観光巡り」をテーマに、神戸市各区の名所や観光地を 会話を交えて手話で紹介しました。あわせて視聴者からの質問に答えるコーナーも加えました。後半３回は、聴覚障害者の日常生活によくあるシーンを舞台に、生活関連の手話単語を紹介し、聞こえない人から学ぶコーナーで日常の課題を話していただきました。聴覚障害者の生活について多くの市民に知っていただける手話動画となりました。

（２）手話普及啓発事業（兵庫県からの受託事業）
県民に広く聴覚障害に対する理解を深め、手話に関心を持ってもらうための講座を開催した。
期　間：令和２年８月 23 日(日)～令和３年３月 21 日(日)
回　数：全１５回(一般県民向け 15 回)１回２時間
会　場：神戸市４、姫路市２、西宮市２，小野市、西脇市、丹波市、養父市、上郡町、
南あわじ市、福崎町
受講者：延べ 147 名
内　容：手話普及啓発講座「はじめての手話講座」
聴覚障害や手話についての講義、手話実技、グループ交流

## 収－１　出版物等普及事業

### １．出版事業

令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で地域の手話奉仕員養成講座、手話通訳者養成講座が中止になったことや行事の中止による本の普及販売ができなかったため、売り上げが大幅に減少しました。書籍のＰＲとしてろうあ兵庫で毎回紹介を掲載しています。今後は、コロナによる影響が今も続きますが、引き続き兵聴協独自出物の普及に力を入れ、書籍の販売を伸ばしたいと思います。

令和２年度書籍売上（冊数）ベスト２５（協会への預売・売掛も含む）

令和３年３月３１日時点

| 順位 | 品名 | 売上数量 | 売上額 |
|---|---|---|---|
| 1 | 新しい手話 2021 | 360 | 356,400 |
| 2 | 奉仕員テキスト | 327 | 1,079,100 |
| 3 | ＭＩＭＩ　１６９ | 175 | 166,250 |
| 4 | ＭＩＭＩ　１７０ | 160 | 152,000 |
| 5 | ＭＩＭＩ　１６８ | 187 | 143,990 |
| 6 | 国際手話ハンドブック第１巻 | 75 | 112,500 |
| 7 | 通訳者講義テキスト改訂版（新刊） | 63 | 124,740 |
| 8 | 通訳Ⅱ 養成テキスト | 58 | 178,640 |
| 9 | 通訳Ⅰ 養成テキスト | 54 | 166,320 |
| 10 | 通訳者 講義テキスト（Ⅰ/Ⅱ共用） | 53 | 99,110 |
| 11 | ろう者たち～権利を求めて | 46 | 50,600 |
| 12 | 新しい手話 2020 | 45 | 44,550 |
| 13 | 国際手話ハンドブック第２巻 | 34 | 51,000 |
| 14 | 通訳Ⅲ 養成テキスト | 29 | 89,320 |
| 15 | 通訳Ⅱ 指導者 | 22 | 84,700 |
| 16 | DVD で楽しく学べる　はじめて出会う手話 | 25 | 49,500 |
| 17 | 新　たっちゃんと学ぼう | 19 | 4,180 |
| 18 | Ｌｅｔ‘Ｔｒｙ！国際手話２ | 19 | 37,620 |
| 19 | わたしたちの手話学習辞典Ⅰ | 18 | 51,480 |
| 20 | 手話・言語・コミュニケーションNo.8 | 17 | 34,000 |
| 21 | 手話・言語・コミュニケーションNo.9 | 14 | 28,000 |
| 22 | 手話テキスト 聴さんと学ぼう！ | 13 | 12,870 |
| 23 | 兵庫の手話　改訂版 | 12 | 18,000 |
| 24 | 一人ひとりが輝ける未来へ | 12 | 4,950 |
| 25 | 2020 全国手話検定試験（第 14 回） | 11 | 38,720 |

## ２．事業部

聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害者および関係者向けのイベント等を企画・実施しました。

（１）要約筆記用ＯＨＰロール・補聴器電池・筆談器販売事業

ロール紙　237 本

補聴器電池　２５個　　フェイスシールド　２８５個

（２） 全日本ろうあ連盟創立 70 周年記念映画「咲む」関連グッズ

クリアファイル　２　　付箋　２　　Ｔシャツ　３

プログラム　２　　ミルキー　46 ケース、３箱

（３） 講演会・講座 等

モルディブ講演会

日　程：令和３年６月１０日（木）18：30～20：30

会　場：神戸市勤労会館

テーマ：「モルディブのあれこれ」

講　師：アーワン・ムハンマド氏

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業第 21 期生

（４）その他

手話言語動画制作　３

日聴紙バインダー　９

## 収－２　ひょうご聴覚障害者介護支援センター運営事業

### １．ひょうご聴覚障害者介護支援センター

（１）統括

ア．ヘルパーの質の向上を目指した学習会の開催

・月１回のヘルパー会議時に行った研修会において知識を深めます。（コロナ感染拡大防止による緊急事態宣言発令により（令和２年４月、５月、８月、令和３年１月、２月は中止）

ヘルパー会議や研修で行ったテーマ

・感染症、・高齢者虐待防止法について

・新型コロナ感染症について　・個人情報保護法について　・認知症について　・法令遵守について

・記録の書き方について　・接遇マナーについて

当センターのケアマネジャー（以下 CM）も参加し、共にスキルアップ向上とサービス提供責任者、担当ヘルパーとの情報共有に努めた。利用者（個人情報保護に基づき、個人情報が特定されないように配慮）に対する悩みや支援内容の相談・分析を行いました。

居宅介護支援事業所として必要な研修（高齢者虐待防止法等）を行い、地域のあんしんすこやかセンターが主催の研修や訪問介護の研修に出席しました。

イ．事業内容の検討

・兵庫県聴覚障害者協会のホームページ内のムービーを新しく作成。来年度にホームページ内のムービーを変更検討していきます。

（２）事業内容

地域生活支援事業の移動支援のニーズが高く、現在、神戸市・三木市・明石市・尼崎市のみですが、今後も依頼があれば派遣範囲を広げていく必要があります。

ア．介護保険法

・居宅介護支援事業（CM によるケアプラン作成・認定調査）

・訪問介護事業・介護予防訪問サービス（ホームヘルパーの派遣）

イ．障害者総合支援法

・居宅介護事業

・同行援護事業（実施できない　　資格を持ったヘルパーが居ない）

・行動援護事業（実施できない　　資格を持ったヘルパーが居ない）

・移動支援（地域生活支援事業）　　対象市…神戸市、三木市、尼崎市

（３）運営会議

１ヶ月に１回担当理事・サービス提供責任者・CM 及び職員との間で報告・連絡・相談をすることにより情報を共有していくとともに、課題について話し合いました。

（４）居宅介護支援事業とホームヘルパー派遣（令和３年３月末現在）

居宅介護支援事業所は 39 名（介護予防含む）の居宅サービス計画書（ケアプラン）作成・相談（要介護認定申請・他サービス事業所の紹介等）や問い合わせに対応しながらそれぞれの在宅支援に貢献しました。

各利用者それぞれの地域の制度の活用やネットワークづくりなどの見直しを行いました。

訪問介護事業・介護予防訪問サービス、障害者総合支援法の居宅介護事業、地域生活支援事業の移動支援事業として県全域を対象にホームヘルパーを派遣しました。

今後も利用者の増加に努めます。またろうあ行事がある場合には、参加を促し仲間たちとの交流を増

やしていくよう支援していきます。要支援や介護度が軽度（要介護１，２）方の割合が多いです。

ア．利用地域（令和３年３月末現在）

神戸市、尼崎市、西宮市、明石市、三田市、豊岡市、三木市、多可町

イ．ヘルパー派遣時間

令和元年度　介護保険・・・・・3205 時間 30 分
障害福祉支援・・・・・774 時間 53 分
地域生活支援事業・・・・479 時間 50 分

令和２年度　介護保険・・・・・4237 時間 26 分
障害福祉支援・・・・・586 時間 20 分
地域生活支援事業・・・337 時間 40 分

ウ．介護保険利用者数（令和３年３月末現在）※訪問介護事業

要支援１：３名（令和元年度　１名）
要支援２：３名（令和元年度　３名）
要介護１：12 名（令和元年度 14 名）
要介護２：３名（令和元年度　５名）
要介護３：１名（令和元年度　０名）
要介護４：３名（令和元年度　２名）
要介護５：０名（令和元年度　０名）
合計　25 名（令和元年度 25 名）

介護保険利用者数（令和３年３月末現在）※居宅介護事業

要支援１：　７名（令和元年度　１ 名）
要支援２：　３名（令和元年度　４ 名）
要介護１：　12 名（令和元年度 11 名）
要介護２：　９名（令和元年度 10 名）
要介護３：　５名（令和元年度　０ 名）
要介護４：　３名（令和元年度　２ 名）
要介護５：　０名（令和元年度　０ 名）
合計　39 名（令和元年度 28 名）

エ．障害サービス利用者数（令和３年３月末現在）※家事援助及び通院等介助

区分１：　１名（令和元年度　１名）
区分２：　３名（令和元年度　４名）
区分３：　２名（令和元年度　３名）
区分４：　０名（令和元年度　０名）
区分５：　０名（令和元年度　０名）
区分６：　０名（令和元年度　０名）
合　計　６名（令和元年度　８名）

移動支援サービス利用者（令和３年３月末現在）

※介護保険サービス及び障害サービスとの重複利用者も含む

神戸市：２名　（令和元年度　６名）

三木市：１名　（令和元年度　１名）

尼崎市：０名　（令和元年度　１名）

オ．ブロック別利用者数（令和３年３月末現在）

・介護保険

阪神３名、神戸１５名、東播１名、西播１名、北播０名、丹有３名、但馬２名　合計２５名

・障害サービス（家事援助・通院介助）

阪神１名、神戸３名、東播１名、西播０名、北播１名、丹有０名、但馬０名　合計６名

・移動支援サービス

上記記載

## 他－１会員・関係団体相互扶助事業

### １．　青年部

（１）総括

１．３本柱の基本を作っていこう！

（仲間づくり）

令和２年度はコロナ禍により、主な青年部行事は中止となった。

新しく「兵青サロン」を実施して青年部員同士の交流の場を設けて交流を深めた。

また、兵庫県ろうあ者新年大会に参加して新成人と交流を通して、兵青リーフレットを配布して青年部の紹介をした。

（学習づくり）

役員として兵聴協幹部研修会や第 11 回西日本エリア幹部研修会（青年部）に参加し、知識を深めた。

（要求づくり）

コロナ禍により行事を開催できなかった。これから青年部員の声を聴いて要求作りにつなげていく。

２．ろうのこども達と関わろう！

コロナ禍により、ろうこどもふれあい企画等の行事が中止、第 30 回近畿ろう教育フォーラム in 兵庫がオンライン開催となったためこども達と関われる機会がなかった。

３．発信力を高めていこう！

Facebook を適宜更新し、青年部の発信や各種行事のお知らせをしてきた。ろうあ兵庫でコラムを掲載し、現在の青年部員の考えや感じていることを発信した。

４．外部団体と繋がろう！

令和２年度はコロナ禍により、ほとんどの行事が中止となったが、11 月に N-Action ひょうごと共催で、京都手話通訳問題研究会の宮原二三弥氏を講師に招いて学習会を開いた。「コロナに罹患したらどうすればよいのか」というテーマで、現地参加とオンライン参加の二つの方法を設けて、お互いに学び合うことができた。

５．兵聴協青年部創立 50 周年記念を祝う準備を進めよう！

コロナ禍で集まれなかったこともあり、準備を進めることができなかった。

（２）　事業経過報告

| 日程 | 内容 | 開催地 | 参加者数 |
|---|---|---|---|
| 令和２年 | | | |
| ４月 18 日 | 第９回㈶兵庫県聴覚障害者協会青年部　総会 | 書面開催 | 37 名 |
| ６月 13 日 | 第 67 回全国ろうあ者大会　青年のつどい | 愛知 | 中止 |
| ６月 27 日 | 第 31 回兵庫県ろうあヤングレクリエーション | 赤穂 | 中止 |
| ７月 18 日 | ろう子どもふれあい企画 | | 中止 |
| ７月 18-19 日 | 第 39 回全国ろうあ青年部活動者会議 | | 中止 |
| ８月 29-30 日 | 第 36 回近畿ろうあヤングフェスティバル | 和歌山 | 中止 |

8月30日　近畿ろうあ連盟青年部　定例代議員会　オンライン(Zoom)　６名
9月5-6日　第39回兵庫県ろうあ青年研究討論会　三木　中止
10月4日　第70回近畿ろうあ者大会　青年のつどい　奈良　中止
10月10-11日　第52回近畿ろうあ青年研究討論会　大阪　中止
10月17日　青年サロン　神戸　８名
10月25日　第15回ふくろう・ふれ愛まつり　淡路島　中止
11月21-23日　第54回全国ろうあ青年研究討論会　埼玉　中止
11月29日　N-Actionひょうご共催企画　神戸/オンライン(Zoom)　２６名
12月6日　近畿ろうあ連盟青年部　中間代議員会　オンライン(Zoom)　４名
令和３年
1月11日　第47回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい　西脇　20名
2月　7日　青年講座（社会生活教室 ※スポーツ部と共催）　オンライン(Zoom)　５４名
2月13日　第５２回全国委員会　オンライン(Zoom)　１名
2月21日　第11回西日本エリア幹部研修会　オンライン(Zoom)　４名
3月14日　近畿ろうあ連盟青年部幹部研修会　オンライン(Zoom)　４名
3月28日　第14回近青＆近コン合同企画　オンライン(Zoom)　２名

## ２．　女性部

（１）総括

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症により、兵庫県をはじめ、近畿も全国も行事の実施が殆どできす、残念でした。

ア．第９回定期総会

新型コロナウイルス感染症拡大のため、4月19日(日)の開催を中止。書面総会による決議としました。女性部会委員45名へ送付の内、４０名承認にて採決されました。

イ．社会見学

６月７日（日）一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会運営の高齢者施設「きのくにの手」見学は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続くため、中止しました。

ウ．第５０回近畿ろうあ女性フォーラム・大学習会

７月12日（日）奈良県立文化会館（奈良市）の開催は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止し、合わせて前日の7月１１日（土）近畿ろうあ連盟女性部主催の大学習会も中止となりました

エ．第３９回兵庫県ろうあ女性のつどい

９月実施を新型コロナウイルス感染症拡大で中止することを書面総会で決議しました。

オ．女性セミナー（社会生活教室）

兵庫県立聴覚障害者情報センター主催の社会生活教室「女性セミナー」は、令和３年１月３１日（日）午後に河合依子氏を講師として来て頂く予定でしたが、新型コロナウイルス第 3 波により、中止しました。

カ．第５０回全国ろうあ女性集会

１０月２３日（金）～２５日（日）京都テルサで開催予定でしたが、４月に全日本ろうあ連盟から、２０２０年度の全国規模行事を全て中止する方針が出されて中止になりました。

キ．女性部会

令和３年１月３１日午前に実施予定でしたが、（オ）の女性セミナーと合わせて中止となり、令和２年度の女性部活動状況の報告と令和３年度の事業計画案などを書面で送付して承認されました。

ク．デフ女子会（新年会）

飲食を伴なう新年の交流は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しませんでした。

ケ．第４６回全国ろうあ女性研修会・第４５回全国委員会

女性研修会は令和３年１月２４日（日）広島市で開催予定でしたが、４月に全日本ろうあ連盟から令和２年度の全国規模行事を全て中止する方針が出されて実施していません。前日の１月２３日（土）の全国委員会も書面による送付に変えて実施されました。

（２）事業経過報告

ア．県女性部

| | | |
|---|---|---|
| ４月１９日（日） | 第９回定期総会 | 中止⇒書面総会実施 |
| ６月　７日（日） | 社会見学　「きのくにの手」（和歌山市） | 中止 |
| ９月 | 第３９回兵庫県ろうあ女性のつどい | 中止 |
| １月３１日（日） | 女性部会 | 中止⇒書面送付で実施 |
| １月３１日（日） | 社会生活教室「女性セミナー」 | 中止 |
| １月 | デフ女子会（新年会） | 中止 |

イ．近畿ろうあ連盟女性部

| | | |
|---|---|---|
| ４月２５日（土） | 代議員総会 | 中止⇒書面総会実施 |
| ６月 | フォーラム打ち合わせ | 中止 |
| ７月１２日（日） | 第５０回近畿ろうあ女性フォーラム（奈良市） | 中止 |
| １１月２３日（土・祝） | 代議員会 | 大阪市立港区民センター |

ウ．全日本ろうあ連盟女性部

| | | |
|---|---|---|
| １０月２３日（金）～２５日（日） | 第５０回全国ろうあ女性集会（京都市） | 中止 |
| １月３０日（土） | 第４５回全国委員会（広島市） | 中止⇒書面送付で実施 |
| １月３１日（日） | 第４６回女性研修会（広島市） | 中止 |

## ３．高齢部

（１） 総括

ア．第９回高齢部定期総会　４月１８日（土）

新型コロナ感染症の感染拡大防止で緊急事能宣言が発令され 施設の使用が不可能になり、初めて書面決議での総会をしました。そして、代議員の皆様のご協力で無事に終えることができました。同時に、顔を合わせての総会という大切さを改めて痛感しました。

イ．敬老会　９月２１日（祝・月）　参加者４９名　　会場：神戸市立長田区文化センター

敬老会・こうれいしゃ講演会は第２波のピークが落ち着いてきた頃のことでクラスター（集団感染）発生のリスクから中止するか開催するか役員一同悩みました。高齢部の皆様の交流の場として必要と開催を決めました。ご長寿の方（８０歳以上）は１８名の参加があり、お互いに長寿のお慶びを分かち合

う事ができました。本当に皆様から元気を頂けた一日でした。この日を楽しみに遠方より来られた方もおられました。

ウ．こうれいしゃ講演会　９月２１日（祝・月）　参加者７７名

講師：吉田正雄氏（一社京都府聴覚障害者協会手話対策部長）をお招きしてテーマ「過去・現在・未来」について講演していただきました。「今の福祉のあり方や幅広い職業の選択等は、今の高齢の方々が若い時から続けてこられたろうあ運動のおかげであり、我々はその感謝を忘れていけない」と話されました。

エ．くりかえす感染症拡大により、社会見学・兵庫県ろうあ者高齢者 GG 大会・旅行会（日帰りに変更）中止になりました。

（１） 事業報告

| | | |
|---|---|---|
| ４月１８日（土） | 第９回高齢部定期総会 | （中止　書面総会） |
| ５月　６日（土） | 第１回５役会議 | 姫路　（５名） |
| ５月１７日（土） | 第２回５役会議 | 姫路　（５名） |
| ７月 | 2020 年度社会見学 | （中止） |
| ８月　２日（日） | 第４回５役会議 | 明石　（５名） |
| ９月 12 日（土） | 第１回役員会 | 明石　（４名） |
| ９月 21 日（祝） | 第 34 回兵庫県ろうあ者敬老会 | 長田区文化センター（49 名） |
| ９月 21 日（祝） | ２０２０年度こうれいしゃ講演会 | 長田区文化センター<br>「過去・現在・未来」講師　吉田　正雄　氏（77 名） |
| 10 月１７日（土） | 第５回５役会議 | 明石　（５名） |
| 10 月 31 日（土） | 第１５回兵庫県ろうあ者グラウンドゴルフ大会 | 川西　（中止） |
| 11 月　７日（土） | 組織部会議 | 兵庫県聴覚障害者情報センター（２名） |
| 11 月２１日（土） | 第２回役員会 | 明石　（４名） |
| １月　９日（土） | 第３回役員会 | 福祉センター（中止） |
| １月 22 日（金） | 2021 年日帰り旅行会の旅（香川方面） | （中　止） |
| ３月　６日（土） | 組織部会議 | 兵庫県聴覚障害者情報センター（２名） |
| | 第４回役員会議 | 明石　（５名） |

近畿

| | | |
|---|---|---|
| ７月　２日（水） | 第１回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議 | 奈　良　（１名） |
| ９月　５日（土）<br>～６日（日） | 第４１回近畿ろうあ高齢者大会＆第 30 回ＧＢ競技大会＆<br>第１１回ＧＧ競技大会 | 京　都　（中　止） |
| １０月１８日（水） | 第６回近畿ろうあ高齢部幹部研修会 | 滋　賀　（中　止） |
| ３月 10 日（水） | 第３回 近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議 | 奈　良　（２名） |

全国

| | | |
|---|---|---|
| ６月１３日（土） | 第６８回全国ろうあ者大会・高齢者のつどい | 愛　知　（中　止） |
| ９月２５日（金）<br>～１０月１日（日） | 第３２回全国ろうあ高齢者大会＆第３４回ゲートボール競技大会<br>＆第１１グラウンドゴルフ大会 | 青森（中止） |
| ２月２１日（金） | 第１２回全国ろうあ高齢部研修交流会 | 福岡　（中止） |

## ４．スポーツ部

（１）令和２年度　総括報告

令和２年１月、中国・武漢市で発生した新型コロナウィルス（COVID-19）が世界蔓延し、WHO は昨年３月 11 日に「パンデミック」を宣言。現在も感染者数は増え続け、第４波への警戒が高まっています。また、2020 東京オリンピック・パラリンピック開催が 1 年延期され、社会・教育・経済にも甚大な影響を受けました。全日本ろうあ連盟下加盟団体の 2020 年度行事はすべて中止または延期となりましたが、スポーツ部としては書面表決とする総会に切り替え、オンライン会議を活用し、三大行事については新型コロナウイルス感染症対策（検温・マスク着用・ソーシャルディスタンス）を行いながら、無事開催を終えることができました。

ア．近畿ろうあ者体育大会・全国ろうあ者体育大会　← コロナの影響により中止

５月開催の第４７回近畿ろうあ者体育大会（和歌山)は４月６日付、９月開催の第５４回全国ろうあ者体育大会(九州分散)は４月１０日付で、新型コロナウイルス感染拡大および政府より緊急事態宣言発令のため中止の正式発表がされました。

イ．スポーツ部三大行事

兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

姫路の阿保緑地グラウンドにおいて姫路チーム、個人申込者で集めた２チームあわせて約３０名の参加者が集い、姫路チームが優勝７連覇を果たしました。コロナ対策として、マスクを配布、手指除菌液を設置しました。子どもを含めた家族での参加が多く、子ども共々楽しく交流ができました。来年度開催地は、阪神ブロックの予定です。

スポーツふれあい

神戸六甲ボウルにおいてボウリング交流会を開催し、子どもから高齢者まで１８名の参加がありました。１レーンの人数を減らして３人ずつとし、ボールやベンチ除菌など会場側のコロナ対策がしっかりしており、安心して楽しむことができました。

兵庫県ろうあ者社会生活教室

全日本ろうあ連盟 70 周年記念映画『咲む』の主演女優でもある藤田菜々子さんを講師に迎え、コロナによる緊急事態宣言下のためオンサイト（現地開催）から Zoom によるオンライン講演会に切り替え開催したにもかかわらず、約６０名ほどの参加申し込みがありました。青年部＆スポーツ部企画としてはじめての試みとあって練習を重ね、なんとか無事に終えることができました。藤田さんの講演内容が素晴らしく参加者に大変好評でした。

ウ．全国・国際の動き

第 20 回全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会）…コロナの影響により開催見送り

令和２年 10 月８日、主催者である日本スポーツ協会の臨時理事会において、鹿児島県における国民体育大会および全国障害者スポーツ大会が 2023 年(令和５年)に開催することが正式決定いたしました。なお、両大会の名称については、「特別国民体育大会」及び「特別全国障害者スポーツ大会」となりました。

（当初日程）令和２年 10 月 24 日～26 日 → （延期日程）令和５年 10 月 28 日～30 日

第 24 回夏季デフリンピック競技大会（ブラジル）　…コロナの影響により開催延期

ブラジルのカシアス・ド・スルにて開催予定だった第 24 回夏季デフリンピックは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により開催延期されることが令和３年２月３日付けで ICSD（国際ろう者スポーツ委員会）から発表されました。なお、開催地の変更はありません。

（当初日程）令和３年 12 月５日～21 日 → （延期日程）令和４年５月１日～15 日

（2）令和２年度　事業経過報告

第９回スポーツ部総会　←　《コロナにより書面表決に変更 ※5/４書面郵送→5/29 結果通知》
【日程】令和２年4月１９日(日) １０：００～１５：００
【場所】兵庫県立のじぎく会館　２階２０９号室

第４７回近畿ろうあ者体育大会 監督主将会議　←　《コロナにより中止》
【日程】令和２年5月１０日(日) １３：３０～１６：００
【場所】和歌山プラザホープ（和歌山市）

第４７回近畿ろうあ者体育大会（和歌山）　←　《コロナにより中止》
【日程】令和２年5月２３日(土)～２４日(日)
【場所】和歌山県立体育館（開会式）

第２０回全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技 近畿地区予選大会
【日程】令和２年5月１７日(日) ９：００～１６：００　←　《コロナにより中止》
【場所】和泉市立市民体育館（大阪府）
【参加】兵庫県男子選手１１名・兵庫県女子選手９名の申し込みがあった

第５４回全国ろうあ者体育大会（九州分散）　←　《コロナにより中止》
【日程】令和２年9月１８日(金)～２０日(日)
【場所】九州分散開催（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、大分県）

第２０回全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技 ←　《コロナにより中止》
【日程】令和２年１０月２４日(土)～２６日(月)
【場所】南栄リース桜島アリーナ（桜島総合体育館）（鹿児島県）

第３９回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会
【日程】令和２年１１月8日（日）９：００～１６：００
【場所】阿保緑地グラウンド（姫路市）
【参加】姫路チーム 12 名、スピリッツチーム９名(加古川市、明石市、三木市、尼崎市、神戸市)、
　　ワンピースチーム 10 名(神戸市、西脇市、加古川市、西宮市、宍粟市) 合計 31 名
【結果】優勝：姫路（７連覇）、２位：ワンピース、３位：スピリッツ

兵庫県ろうあ者社会生活教室（青年部合同企画）←　《オンライン開催に変更》
【日程】令和３年2月7日(日) ９：00～１２：００
【場所】神戸市立総合福祉センター 会議室Ａ･Ｂ・Ｃ
【内容】講演「きこえない俳優とその生い立ち」　講師：藤田 菜々子氏
【参加】６１名

スポーツふれあい２０２０「ボウリング交流会」

【日程】令和３年3月２０日(日) １４：００～１６：３０
【場所】神戸六甲ボウル（神戸市）
【参加】１８名

≪県≫

４月　４日（土）　決算会計《郵送》監査
７月１７日（金）　第１回役員会　出席５名　（神戸総合福祉センター）
８月２８日（金）　青年部合同会議　出席５名　（東部在宅障害者福祉センター）
９月２４日（木）　青年部合同会議《オンライン＆オンサイト　（アスピア北館）
１１月　７日（土）　組織部会議　出席２名　（兵庫県立聴覚障害者センター）
１１月１３日（金）　第２回役員会《オンライン＆オンサイト》　（アスピア北館）
１２月　４日（金）　青年部合同会議《オンライン》　（zoom）

令和３年

１月１６日（土）　青年部合同会議《オンライン＆オンサイト》　（神戸総合福祉センター）
２月２４日（水）　青年部合同会議《オンライン》　（zoom）
２月２４日（水）　第３回役員会《オンライン》　（zoom）
２月２６日（金）　デフバレー女子２クラブ懇談会　（東部在宅障害者福祉センター）
３月　６日（土）　組織部会議　出席２名　（兵庫県立聴覚障害者センター）
３月２０日（土）　デフバレーボール交流試合協力　（兵庫県立障害者スポーツ交流館）
３月２６日（金）　第４回役員会　出席５名　（東部在宅障害者福祉センター）

≪近畿≫

５月　９日（土）　第１回近畿体育部常任委員会《コロナ中止》　（和歌山）
５月　９日（土）　午前/近畿体育部２０１９年度全体委員会《コロナ中止》　（和歌山）
８月　８日（土）　６府県体育部長臨時会議　（奈良）
９月１３日（日）　第２回近畿体育部常任委員会　（奈良）
１２月１３日（日）　午前/６府県体育部長臨時会議　（京都）
１２月１３日（日）　午後/第３回近畿体育部常任委員会　（京都）

令和３年

２月１４日（日）　第４回近畿体育部常任委員会　（京都）
３月２８日（日）　６府県体育部長臨時会議《オンライン》　（zoom）

≪全国・国際≫

なし

**５．全国手話検定試験事業**

（１）全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当法人が準備を進め、試験実施に協力しました。（５級～１級）

ア．５級・４級試験の実施
　日　程：令和３年２月２７日(土)
　会　場：兵庫県立のじぎく会館
　受験者：５級９１名、４級８８名

イ．３級・２級試験の実施
　日　程：令和３年２月２８日（日）

会　場：兵庫県立のじぎく会館
受験者：３級９３名、２級 50 名

ウ．準１級・１級試験の実施
日　程：令和３年２月２３日（祝）
会　場：神戸市立総合福祉センター
受験者：準１級２５名、１級１２名

エ．団体受験の実施
淡路ふくろうの郷（2/5）４・３級１２名

**６．第１６回兵庫県聴覚障害者文化祭**　※コロナ禍のため中止
日　時：令和２年９月２６日（土）午前11時00分～午後3時00分
場　所：神戸市立灘区民ホール
２階兵庫県立聴覚障害者情報センター、５階マリーホール

**７．第３７回兵庫県ろうあ者大会**　⇦※コロナ禍のため中止
日　時：令和２年７月５日（日）　午前１０時００分～午後４時００分
場　所：西宮市市民会館アミティホール

**８．第４７回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい**
日　時：・令和３年１月１１日（月・祝）午後１時００分～午後４時００分
場　所：・西脇市民会館　大ホール
内　容：・第一部　オープニング　西脇高等学校生活情報科ファッションショー
大 会 式 典　（来賓、来賓祝辞等）
成人祝いのつどい　（新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈など）
丑年生まれ祝いのつどい　（紹介、お祝い、記念品贈呈）
・第二部　トークデイスカッション
トークゲスト　新成人のみなさん
・第三部　次回開催地への引継ぎ　西脇市から明石市へ
福引抽選会
参加者：　２６０名

**９．第３９回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会**
日　程：令和２年１１月８日（日）９：００～１６：００
場　所：阿保緑地グラウンド（姫路市）
参　加：姫路チーム 12 名、スピリッツチーム９名(加古川市、明石市、三木市、尼崎市、神戸市)、
ワンピースチーム 10 名(神戸市、西脇市、加古川市、西宮市、宍粟市)　合計 31 名
結　果：優勝：姫路（７連覇)、２位：ワンピース、３位：スピリッツ

**１０．第６回兵庫県ろうあ者討論集会**
コロナ禍のため、中止。

**１１．幹部研修会**

第１回幹部研修会

　　コロナ禍のため、中止。

第２回幹部研修会

日　程：令和３年２月１３日（土）

時　間：１３：３０～１５：３０

場　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

参　加：33 名

内　容：「地域でのろうあ運動の現状と課題について」（オンライン）

## 管理部門

### 1.理事会

| | | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 令和２年/04/25 | 令和2年/05/16 | 令和２年/06/20 | 令和2年/08/6 | 令和2年/10/21 | 令和２年/12/12 | 令和３年/01/10 | 令和３年/03/27 |
| 理事長 | 本郷　善通 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| 副理事長 | 小林　泉 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| 理　　事 | 嶋本　恭規 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| | 嘉田　眞典 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| | 仲井　正 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| | 橋詰　一則 | 出 | 出 | 出 | 出 | 欠 | 出 | 出 | 出 |
| | 岩本　吉正 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| | 山本　紋子 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| | 古　　隆喜 | 出 | 欠 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| | 足立　達哉 | 出 | 欠 | 出 | 欠 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| | 木戸めぐみ | 出 | 出 | 出 | ― | ― | ― | ― | ― |
| | 大塚登代子 | 出 | 出 | 出 | 欠 | 欠 | 出 | 出 | 出 |
| | 中村　泰輔 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 監　　事 | 吉野 浩 | 出 | 出 | 出 | 出 | 欠 | 出 | 出 | 出 |
| | 井谷 亮 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 |
| | 川上　能壽 | 出 | 出 | 出 | 欠 | 欠 | 出 | 出 | 出 |

### 2．総会

第９回総会　令和２年6月20日（土）13時30分～15時30分
兵庫県立のじぎく会館
出席　４３人　委任　４６１人

［議事結果］

| | 不承認 | 保留 | 承認 |
|---|---|---|---|
| 第１号議案　議長選出の件 | ０名 | ０名 | ４３名 |
| 第２号議案　令和元年度事業報告の件 | ０名 | ０名 | ４３名 |
| 第３号議案　令和元年度決算報告及び令和元年度監査報告の件 | ０名 | ０名 | ４３名 |
| 第４号議案　理事・監事改選に関する件 | ０名 | ０名 | ４２名 |

### 3．事務局

・協会の実務全般のとりまとめ
協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携

及び関係づくりにつとめました。

4. 令和２年度人事異動報告

（１）採用

| | | |
|---|---|---|
| 令和３年１月５日 | 後藤　幸子 | （ひょうご聴覚障害者介護支援センター／正職員） |
| 令和３年１月５日 | 積山　裕美 | （ひょうご聴覚障害者介護支援センター／正職員） |
| 令和２年８月２４日 | 榮　実 | （はりまふくろうの家／嘱託職員） |
| 令和２年４月１日 | 迫田　理恵 | （たつのころうあハウス／パート職員） |
| 令和２年４月２７日 | 植松　典子 | （はりまふくろうの家／パート職員） |
| 令和２年８月１１日 | 大友　希美 | （たじま聴覚障害者センター／パート職員） |
| 令和２年１２月２３日 | 幸泉　正子 | （本部事務所／パート職員） |
| 令和３年２月８日 | 木崎　奈津希 | （本部事務所／パート職員） |

（２）異動

| | |
|---|---|
| 令和２年９月１日 | 西崎　未奈子<br>（ひょうご聴覚障害者介護支援センター→たつのこ工房） |
| 令和３年１月５日 | 松原　佑奈<br>（本部事務所→兵庫県立聴覚障害者情報センター） |
| 令和３年２月１日 | 秦　さやか<br>（にしのみや聴覚障害者センター→はりまふくろうの家）<br>岡崎　正樹<br>（たつのころうあハウス→にしのみや聴覚障害者センター） |

（３）退職・契約終了

| | | |
|---|---|---|
| 令和２年４月１０日 | 久保田　雪子 | （はりまふくろうの家／嘱託職員） |
| 令和２年６月３０日 | 中井　弘美 | （たつのこ工房／パート職員） |
| 令和３年３月３１日 | 横田　理恵 | （はりまふくろうの家／正職員） |
| | 八木田　克己 | （たじま聴覚障害者センター／嘱託職員） |
| | 杉谷　智恵美 | （たじま聴覚障害者センター／パート職員） |
| | 川崎　眞由美 | （たつのころうあハウス／パート職員） |
| | 木崎　奈津希 | （本部事務所／パート職員） |

## 参考資料／関連団体・各種委員会等

（１）近畿

ア．第２６回近畿けいわんフォーラム in 兵庫

日　時：令和2年１１月3日（火・祝）１３：３０～１６：３０

場　所：神戸市立総合福祉センター

内　容：「雇用された手話通訳者の健康実態調査について」

講　師：垰田　和史　氏

参加者：62 名

イ．第３０回ろう教育近畿フォーラム in 兵庫

日　時：2月6日（土）１3:３０～１6:００

会　場：オンライン（Zoom）

内　容：「ICT 教育 ～コロナ禍でのろう教育の取組～」

講　師：小林　洋子 氏

参加者：６４名

（２）兵庫県関係

・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会）年２回（神戸）【本郷】

（３）近畿ろうあ連盟及び近畿の行事への協力と代表派遣

・第４７回近畿ろうあ者体育大会（和歌山）令和２年5月２３～２４日（中止）

・第７０回近畿ろうあ者大会（奈良）令和２年１０月４日（中止）

・第９回近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム（奈良）　令和２年１１月２８日【嘉田】

・第３０回近畿ろう教育フォーラム（兵庫）令和３年２月６日【古】

・第３１回近畿手話サークルフォーラム（京都）令和３年３月２１日（中止）

・２０２０年度近畿ろうあ連盟幹部研修会（滋賀）令和３年１月 23 日～２４日（中止）

・近畿ろうあ連盟評議員会　令和３年１月２４日神戸市立総合福祉センター（オンライン）
【本郷、嘉田、山本紋、古、足立、岩本、橋詰】

・第１回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）令和２年４月２９日（書面表決）

・第２回近畿ろうあ連盟代表者協議会（滋賀）令和３年１月２４日（書面表決）

・近畿地区専従職員研修会（奈良）令和２年１１月２７日【嶋本、山本、嘉田、岩本】

・第１回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）令和２年5月９日（中止）

・第２回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成２年7月１１日【嘉田】

・第３回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（京都）平成２年１１月３日【嘉田】

・第４回三団体会議（京都）令和３年３月２１日（中止）

（４）全日本ろうあ連盟、全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

・第８回（通算第７１回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会（京都）
【本郷、小林、嶋本、嘉田、山本、岩本、足立、古、橋詰】

・第６８回全国ろうあ者大会（愛知）平成２年６月１３日～１４日（中止）

・第５４回全国ろうあ者体育大会（九州）　令和２年9月１８日～２０日（中止）

## ３．各種委員会

### （１）聴覚障害者センター支援委員会

ア．会議日程：１２月２６日

イ．場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ．構成団体：兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・兵庫県手話サークル連絡会・兵庫県要約筆記サークル連絡会・兵庫手話通訳問題研究会神戸市手話サークル連絡会・要約筆記こうべ

エ．活動内容

コロナの影響で情報センター研修室の利用制限があり、会議を休止したため、要望書の作成ができなかったが、令和３年度は県に要望書を提出する方向です。

### （２）ひょうご聴障ネット

ア．目的

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立しました。

イ．令和２年度の活動

（主催事業・行事）

・総会(書面総会　返信 168 名)
・夏の学習会（中止）
・兵庫県聴覚障害者文化祭（中止）
・年４回「ひょうご聴障ネットニュース」発行
・役員会　毎月第３木曜日→令和２年度は３回開催
・事務局会議　毎月第２、４木曜日→令和２年度は全 17 回　内リモート会議７回）
・2021年ふくろうカレンダーの作成、販売
・兵庫県議会訪問（中止）

（協力事業・行事）

・ふくろうふれ愛まつり(中止)
・旧優生保護法被害国賠訴訟傍聴、呼びかけ等支援

〈緊急支援〉

事業所に一律 20 万円の支援

たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、にしのみや聴覚障害者センター
たつのころうあハウス、たつのこ工房、淡路ふくろうの郷、おのころの家
おのころ屋、神戸ろうあハウス、夢ふうせん

〈会員・資産〉

2021 年３月 31 日現在　会員数 369 人・80 団体
（内訳：マンスリー/62、個人/303、特別/4　団体/80）
2021 年３月 31 日現在　資産残高 26,276,255 円

〈兵聴協との関わり〉

・兵聴協から代表委員１名・事務局次長１名・委員２名を派遣。その他学習会などで協力。
・「ろうあ兵庫」で毎号ひょうご聴障ネットの活動を会員に報告、ＰＲを行いました。

（３）兵庫のろう教育を語り合う会

ア．定例会議：第一木曜日に開催　Zoom`・神戸市立総合福祉センター　１９:３０～

イ．主な活動

・第３０回ろう教育近畿フォーラム in 兵庫

日　時：2月6日（土）１３:３０～１６:００

会　場：オンライン（Zoom）

内　容：「ICT 教育 ～コロナ禍でのろう教育の取組～」

講　師：小林　洋子 氏

参加者：６４名

ウ．機関紙掲載

「ろうあ兵庫」「ひょう通研ニュース」「県サ連だより」に活動内容の報告やろう教育の情報などを掲載。

エ．県下、県外でのその他の活動

・コロナの影響より活動自粛

オ．今後の方針

今後も聴覚特別支援学校や難聴学級を実施している一般学校の連携を図りながら、教育環境や子ども、保護者の置かれた状況に柔軟に対応していけるよう努めます。学校側の企画にも積極的に協力し、学校側にも当協会の企画への参加を促進するなど、更なる連携強化を図ります。

・「第２２回ろう教育近畿フォーラム in 兵庫」と「第２５回ろう教育学習会」への取り組み

・聴覚障害児を持つ保護者や教員との交流や情報提供、ネットワーク作り（相談、訪問、交流など）

・県下聴覚特別支援学校や行政関係（県・市教育委員会）との連携

（４）手話通訳制度化推進委員会

ア【定例会議】

毎月第４金曜日　第 395 回～396 回　19：00～21：00

場所　　神戸市立総合福祉センター

イ【構成委員】　計６名

| | | | |
|---|---|---|---|
| 兵庫県聴覚障害者協会 | ２名 | 兵庫県手話サークル連絡会 | ２名 |
| 兵庫手話通訳問題研究会 | ２名 | 神戸聴覚特別支援学校 | １名 |

ウ【活動内容】

・なるほどザ制度化学習会開催について→令和２年度は中止

・今後の取り組みについて

・コロナ関連の対策

・意思疎通支援事業（地域）の課題

・聴覚障害者への情報配信（知事記者会見、地域の情報発信）

・ＩＣＴを用いた手話通訳について（遠隔手話通訳）

「手話通訳制度って何？」 聴覚特別支援学校向けパンフレット配布

・神戸および姫路聴覚特別支援学校の高等部三年生を対象に学校訪問を行い、生徒に制度化委員会で

作成したDVDを見てもらい、その後、パンフレットの配布をし、手話通訳制度について説明、地域の設置通訳者・派遣通訳者について紹介しました。

神戸 11 人　　姫路 ５人

【総括】

新型コロナウイルス感染症拡大のため緊急事態宣言が発令され、集まれない時期もあり、３回のみの会議になりました。なお、３月以降はオンラインによる会議に移行しています。

今年度も神戸および姫路聴覚支援学校への訪問をしました。高校三年生に手話通訳制度のことを知っておらう活動を続ける重要性を感じました。

今後も活動内容について三団体の意向にそって進めていきます。

（5）兵庫手話健康対策委員会

ア．定例会議：毎月第２月曜日　19：00～21：00　神戸市立総合福祉センター

4/１３（月）　5/11（月）　6/8（月）　7/１３（月）　8/5（日）

10/１２（月）　12/１４（月）　２/２０（土）→情報センター

イ．構成委員：(兵聴協）仲井・中村・木戸（６月まで）

（県サ連）苗村・江木・波々伯部（６月まで）

（兵通研）秦野・鈴木（12 月より）

ウ．活動内容

・第 26 回近畿けいわんフォーラム in 兵庫

日　　時：11 月３日（火・祝）

テ ー マ：「雇用された手話通訳者の労働と健康についての実態調査と現在の課題」

参　　加：６３名（ろう者１４名・聴こえる人４９名）

講　　師：垰田　和史先生（びわこリハビリテーション専門職大学教授）

場　　所：神戸市総合福祉センター

・伊丹市学習会

日　　時：令和３年１月１７日（日）→中止

テ ー マ：「けいわん」（頸肩腕障害）を知ろう！

場　　所：スワンホール

※新型コロナウイルス感染拡大のため政府及び行政からの自粛要請による中止

DVD 製作案の検討、撮影・編集

Ｔシャツ作成・内容検討

エ．啓発事業

ろうあ兵庫、県サ連だより、兵通研ニュースに「けいわんニュース」を掲載

学習会、けいわん検診など行事で「ＳＴＯＰ・ザ・けいわんパートⅡ」「身体のストレッチ」冊子紹介。

オ．総括

今年度より会議開催日を２ヵ月に１回とし、学習会前などに臨時で集まる事を決めた。コロナ禍の影響で会議できていなかったが、7 月から集まり近畿けいわんフォーラムの講師希望やビラの作成、当日は受付などを担当した。

今年度の訪問（オルグ）の依頼は 1/17 に伊丹市からの依頼 1 件だったがコロナ禍で中止となった。今後コロナ禍が落ち着いたら、けいわんが起こるしくみ、けいわんの予防が大事だと啓

発していきたい。けいわん予防の啓発のためDVD作成し気軽に体操をしてもらえるような内容の考案を行った。肩甲骨を意識したTシャツをデザインし、関連した学習会で委員が着用して体操をおこなうことで参加者に印象付けの効果を期待したい。

**（６）災害対策委員会**

ア．委員会：１/２６・２/１５、３/１５（いずれもオンラインにて実施）

イ．構成委員：（兵聴協）嘉田、岩本　（県サ連）今井、吉村　（兵通研）竹原、鞍富

ウ．検討事項

・災害に対する各ろう協の取り組みについてのアンケート協力のための文書の検討

・アイドラゴン４設置（福祉事務所、福祉センター、福祉避難所）のための情報取集

エ．活動内容

・兵庫県聴覚障害者文化祭防災グッズて展示（中止）

・ひょうご安全の日(1/17)のつどいに参加。コロナ禍のためブースによる出店なし。

オ．啓発事業

・聴覚障害者文化祭にて防災に関する避難グッズ、パンフレットを展示(中止)

カ．総括

災害対策委員会独自の活動の充実を図っていく

**（７）聴覚障害者の医療を考える会**

ア．聴覚障害者の医療を考える（“いのち”を考える会）

・ 5/28（木）　※コロナ禍のため中止

・ 7/23（木）　※コロナ禍のため中止

・ 9/　6（日）第179回（第18回）　出前“いのち”in但馬（豊岡市）

「認知症と物忘れ」

講師：千葉 義幸 医師　　参加者３６名（聴覚障害者１２名）

・１１/26（木）第180回　「コロナ対策、その考えで大丈夫か？」

～一つ一つ、ドクターに聞いてみる～

講師：水間 美宏 医師　　参加者２１名（聴覚障害者７名）

・　3/25（木）第１８１回　「頭痛・肩こり・四十肩」

～その他いろいろ質問に答えます～

講師：小林 恵三 医師　　参加者２３名（聴覚障害者１０名）

【評価】

・保険医協会の協力と兵聴協との連携により、1987年から33年間継続できています。

・新型コロナウイルス感染症防止対策のため、５月と７月は開催を見送ったが、９月以降は座席の間隔をとれるように広い部屋を確保するなどの感染防止対策を行い、開催しました。

・神戸以外の地域で行う「出前“いのち”」は但馬地域班の協力のもと、豊岡市で開催した。テーマは地域班からの希望により決定した。また今回は、講師も地域班からの要望により、地元豊岡で開業されている千葉医師に決まりました。

・出前“いのち”の講師は昨年と同じ医師となった。聴覚障害者に話すときはゆっくり話した方がいい

と思うようになったと言われており、講師への啓発につながっていると考えます。

イ．県内行事に参画し「健康相談・血圧チェック・口腔衛生・お薬相談・検査相談・リハビリ相談コーナー」を設けました

・神戸ろうあ協会主催の遠隔手話通訳システム体験会に協力しました。班員が、医師と看護師役になって医療現場の再現をし、医療従事者の立場から意見を出しました。（９月 12 日・９月 29 日）

・新年大会に参画し「健康相談・血圧チェック・口腔衛生・お薬相談・検査相談コーナー」を設けた

・健康相談・血圧チェックの各所に消毒薬を設置し、血圧測定後は毎回聴診器の消毒をしました。

・対応できるコーナーが限られたが、これらの取り組みは今後も聴覚障害者の健康への関心につながるよう継続していきたい。

・行事における各コーナーの利用者件数

1/11（月）第 47 回兵庫県ろうあ者新年大会　兼成人祝いのつどい　（西脇市）

健康相談４件、血圧チェック２５